

令和3年度一般会計決算の概要

● 歳入（528億8,500万9千円）

市税全体は、新型コロナウイルス感染症による特例措置の影響で、固定資産税が1億4,124万円減となったことにより1億2,952万円の減となりました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症に伴う特別定額給付金給付事業補助金が135億4,720万円減となったことにより105億3,621万円の減となる一方、地方交付税は14億5,794万円の増、地方消費税交付金は2億6,758万円の増となり、歳入決算額は、前年度比109億7,122万円、17.2%の減となりました。

● 歳出（503億9,406万8千円）

令和元年度から4カ年の市政運営の道標としてスタートした第2次基本計画に則り、オーガニックなまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、新型コロナワクチンの集団接種体制整備による保険・医療の充実、防災ハザードマップの全戸配布、災害用救命ボード・消防団車両の整備による防災・消防体制の充実、新型コロナウイルス感染症に係る子育て世帯への臨時特例給付金や子育て応援ミールポイント事業による子育て支援の充実、パークベイプロジェクトの推進などを実施した結果、歳出の決算額は、前年度比114億2,652万円、18.5%の減となりました。

● 収支の差し引き額

令和4年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、16億3,533万8千円の黒字となりました（実質収支額のうち、13億3,533万8千円は財政調整基金へ積み立てました。）。